

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域との交流は常に保たれているが、身体機能の低下から、外出困難な方への外出支援は少ない状態である。	地域密着型サービスとして、全ての利用者様が地域との交流を更に深めて行ける様努めたい。	地域での買物や何気ない挨拶の機会を増やす。施設内にあるデイサービスフロアを利用し、土日、祝日(年1~2回予定)認知症の理解を深めて頂けるよう集いを計画していく。	6ヶ月
2		施錠については、拘束である事の理解をしており、これまでも検討してきているが、利用者様の安全性の観点から、各ユニットの出入口及び玄関の施錠がされている。	施錠が拘束である事は、全職員、留意しているが、より今まで以上に利用者様の表情やしぐさを見極め、利用者様の意向に添う対応を行なう。	ご家族様の安心の声は届いているが、引き続き施錠の対応について、常に話し合う機会を設ける。今後も利用者様の思い、意向を尊重する。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。